

Top Message



将来にわたり、
品質保証をお約束することを
大切に考えます。

品質保証を目指して

当社は、平成18年9月、創立以来掲げてきた「ご契約者第一主義」という経営理念を改めて見つめ直し、何よりもお客さまを大切にしていくなかで決意として「品質保証新宣言」を発表いたしました。当社は、これまで経営理念を実現するために、「生涯設計」の推進、「経営品質の向上」に注力してまいりましたが、お客さま一人おひとりに評価されるに相応しい取組みとしてお約束した「品質保証新宣言」を着実に履行することをCSR経営の中核に位置づけ、推進しています。

生命保険は目に見えない商品であり、またお客さまが自発的にニーズを認識して買い求める機会も少ない商品です。だからこそ、生命保険の価値を多くの方に正しく理解していただいたうえで、ご納得いただける商品・サービスを提供し続けていくことが必要だと考えています。

宣言の一つひとつは、生命保険会社として当たり前にするべきことばかりですが、将来にわたって品質保証を掲げることが、「生命保険」を提供する当社にとって大切であると考えています。

当社は、追加的な保険金等のお支払いに関して、平成20年7月に金融庁より保険業法に基づく業務改善命令を受け、同年8月に業務改善計画を提出いたしました。保険金等のお支払いという生命保険の根幹をなす業務において、このような事態を招きましたこと、また、お客さまにご迷惑とご心配をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

業務改善計画に沿った再発防止の観点も含め、「品質保証新宣言」の履行により一層努めてまいります。

環境変化への対応 <相互会社から株式会社へ>

お客さまに「品質保証新宣言」でお約束した「品質」を提供し続けるには、社会とともに当社自身も持続的に成長していくことが必要となります。

急速に経済発展を遂げているアジア諸国では生命保険に対するニーズが拡大し、国内では、高齢化の影響で貯蓄性の高い生命保険への関心が高まりつつあります。このような新たな市場に生命保険を提供し、社会の発展に寄与していくことも成長への礎と考えます。

これまで、経営品質を向上させるために、お客さま本位の視点で常に変革していくこと

を目指してまいりましたが、環境変化の激しい時代においても常にお客さまから求められる生命保険を提供し続けるために、より柔軟な経営戦略をとりうる組織形態である株式会社に変更することとし、本格的な準備作業を開始しています。

株式会社への変更後も、「保険契約者が主人公である」という考えのもと、「お客さま第一」を機軸として社会や従業員などさまざまなステークホルダー（利害関係者）の満足度を高めることにより、企業価値の向上に努めてまいります。これがひいては、株主にも支持されるものと考え、CSR経営に一層磨きをかけていく所存です。

今後も、生命保険の社会的役割を原点とし、社会の持続可能な発展に貢献していきたいと存じますので、変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成20年12月

代表取締役社長

奇藤勝利